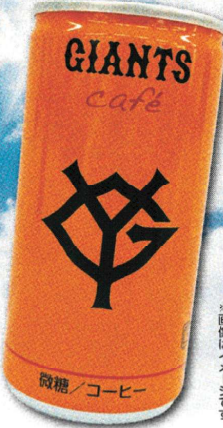


YC だより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。

県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

東京ドーム周辺の自動販売機など限られた場所でのみ販売されていない! 「ちよつとプレミアム」な缶コーヒーをご賞味あれ!!



ジャイアンツカフェは読売巨人軍公認の飲料です

申込番号 939055

ジャイアンツカフェ ブラック・無糖

●容量:185g(1缶)●原材料名:コーヒー(国内製造)●日本製

賞味期限:製造日から14か月

申込番号 939056

ジャイアンツカフェ 微糖

●容量:190g(1缶)●原材料名:コーヒー(国内製造)、砂糖、濃縮乳、全粉乳、デキストリン、乳化剤、甘味料(アセスルファムK)

●日本製

賞味期限:製造日から14か月

各ケース30本入り 4,200円(税込)

+送料 770円(税込)

得点ご注文頂いても1枚の送付につき 送料(税込) 770円 宅配便

ご注文・お問い合わせは通話無料のフリーダイヤルで

0120-130-170

AM9:00~PM8:00(土・日・祝日もお受けします)

企画番号 6076 ※ご注文の際は企画番号・申込番号をオペレーターにお申し付けください。

受付開始 2025年3月26日(木) 商品配送 4月上旬以降

支払方法 ①商品お届けの際に代金と引き換え(代引手数料無料) ②クレジットカード(翌月一括払い、リボ払い、分割払い) ※ご本人名義に限り。一部、提携カードで受け入れてできない場合がございます。

お客様の都合による返品はお客様がご負担となります。商品到着後、直ちにご連絡ください。返品送料はお客様がご負担となります。

●返品・交換は商品到着から14日以内にご連絡ください。●ご注文をいただいた方(以下「お客様」)のお名前、ご住所、電話番号、申込内容等の個人情報は、株式会社読売新聞販売(以下「当社」)とお客様の地域を担当する読売センター(YC)が共同で利用し、商品のお届けのほか、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内の送付、新聞の配達・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購入の履歴、ご購入の延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YC及び読売グループが協力・提供する企業の商品・サービスの案内、宅配業務に利用させていただく場合もあつて管理します。個人情報の取り扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacypolicy/kyoudouriyou.htmlをご確認ください。

読売新聞販売部 読売情報開発リテール課 T102-8618 東京都千代田区千代田2-13-3

76年6年生15人で始動から県トップレベルまで成長 小針ヤンキーズ 創立50周年式典



山本代表 発展を遂げよう 伊奈町の少年野球チーム・小針ヤンキーズスポーツ少年団が2月11日、伊奈町総合センターで創立50周年記念式典を開催した。式典では山本靖彦代表が「50周年を迎えますが、初代の代表、指導者の方々の努力で今日まで途切れることなく継承してきました。これからも益々大きく発展していきたい」と頑張りを語り、50周年を祝った。伊奈町の少年野球チーム・小針ヤンキーズは76年創立。当初は6年生15人でスタートとなったが、06年に県初優勝を挙げ、22年には全国大会出場を果たし、ベスト8入りと、県トップレベルの活躍を続けてきた。この日で卒団となった杉江海翔主将(6年)は「50年の重みを感じながらもみんなで協力してやり遂げることができた」と振り返り、「5年生の三村怜新主将は「僕たちも歴史に残るいい成績を」を誓った。

人間形成できようという願いを込めてと述べた。小針ヤンキーズは76年創立。当初は6年生15人でスタートとなったが、06年に県初優勝を挙げ、22年には全国大会出場を果たし、ベスト8入りと、県トップレベルの活躍を続けてきた。この日で卒団となった杉江海翔主将(6年)は「50年の重みを感じながらもみんなで協力してやり遂げることができた」と振り返り、「5年生の三村怜新主将は「僕たちも歴史に残るいい成績を」を誓った。

深谷バレーボールクラブ 昨秋県新人戦準V校撃破



深谷バレーボールクラブ 253025 163222 1 熊谷富士見

2025年度中学校バレーボール女子第25回県北交流会

フルセットまでもつれる接戦 2025年度中学校バレーボール女子第25回県北交流会が2月1~11日、カミケンシルクドームなどで行われ、深谷バレーボールクラブが初優勝を飾った。熊谷富士見との決勝で

はフルセットまでもつれる接戦も、小見心陽(2年)、若生萌代(1年)らの強打などで振り切った。昨秋の県新人戦で準優勝した熊谷富士見を破り、岡田真監督は「今日の勝利は大きいね」と満足そうに話した。こちらは県新人戦3回戦敗退

れを強調。1年生ながらライトから何でも強打をたたき込んだ若生は「今までで一番ジャンプできたし、相手ブロックの間を抜くことができた」と練習の成果を発揮できたことがうれしそうだ。センター石川優椋(2年)がケガで離脱中だったが、代役の山本莉音(2年)が急成長。山本は「スパイクの踏み込みなどの課題を克服してきた。これからも私がレギュラーという気持ちでいく」と力強く話した。「夏は全国に行く」(小見)という目標に向け、全員の団結力がまた強まった。



初優勝を飾った深谷バレーボールクラブ